

未来の「変革者」たち

- ・ 知識基盤社会、グローバル化、少子高齢化が進行した社会で、自由で豊かな人生の実現。
 - ・ 集中から分散へ。画一から多様性へ。 ・ 人権が尊重された平和な社会の実現。
 - ・ 若者の力を生かした地域、コミュニティの真の自立。 ・ 循環型の、持続可能な社会の実現。
- イノベーションによる新たな産業の創造 新たなまちづくり 地域再生のモデルを世界に発信

教育目標

新しい生き方、新しい社会の建設を目指し、地域や世界を舞台にして、これまでの価値観、社会のあり方を根本から見直し、自らを変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者」を育成する。

育成する資質・能力

- どんな困難な問題に対しても、論理的思考力、課題発見・解決力、強い志と使命感を持って、何度失敗しても挑戦し続ける「主体性」
 - 異なる言語、文化、価値観を乗り越えて多様な主体と共に力を合わせる「協働性」
 - 新しい生き方、産業、社会をつくりだしていく「創造性」
- 知識、スキル（知識をどう使うか）、人格（社会とどう関わるか）、メタ認知（自らを振り返り変えていく力）という4つの学力概念ごとにまとめたルーブリックをもとに育成

変革のための3つの理念と取り組み

1 「自立」～自主・自律と、主体性の回復

- 知識詰め込みから脱却し、自ら学ぶ力を育成する「主体的な学び」
- 学ぶ意欲を育み、考える力を伸ばす授業。
- 解のない課題への挑戦を後押しする授業
- 学力向上
- 英数国の習熟度別指導などによる、学び直しと発展的学習に対応する個別指導。
- 課外、大学生による放課後の学習支援。
- キャリア学習、進路実現
- 系統的なキャリア学習による進路意識の啓発・深化と、早期からの小論文指導等。
- 国公立大学等進学、資格取得支援。
- 生徒指導、教育相談体制の充実
- カウンセリングの充実、寮生活などをおとした基本的な生活習慣、社会性の育成。

2 「協働」～多様性の中での対話と協働

- 多様な主体との連携・協働による「対話的な学び」
- 生徒が教え合い学び合う「共同学習」など「対話的な学び」。
- 双葉郡内の中学校等との連携
- 地域住民や企業、NPO等との協働、「みらいラボ」での多様な出会い。
- 価値観や文化の違いを超えて共に生きる力の育成
- 演劇の授業によるコミュニケーション力の育成
- 寮生の自治活動による寮生活の充実。
- グローバル・シティズンシップの育成
- 地域の課題と重ねつつグローバルな課題に向き合い、行動する力を育む、アメリカやドイツ等での海外研修。

3 「創造」～新たな価値、生き方、社会の創造

- 各教科と探究の往還による、知識を生きて働くものとする「深い学び」
- 他者と関わりながら対象世界を深く学び、自分のこれまでの知識や経験と結びつけ概念的理解が深まったり、生き方につなげていけるような「深い学び」。
- 震災と原発事故から学び、教訓を生かした、新たな生き方の創造
- 被災・避難者の声に耳を傾け、震災と原発事故の教訓、双葉郡・福島の問題をとらえ福島を生きる者として分断や対立を乗り越え「いかに生きるか」を考える。
- グローバル化や少子高齢化・人口減少が進行した社会、知識基盤社会における新たな地域、社会、文化の創造
- 演劇の授業などを通してふるさとの課題と向き合う「ふるさと創造学」。
- 原子力防災、再生可能エネルギー等の課題を探究し、グローバルな視点からの地域課題の解決及び地域再生を実践する「未来創造探究」（ゼミ形式の探究学習）。
- オリンピックなど世界を舞台として活躍するアスリートの育成。
- 新たな地域、社会づくりを支える芸術や文化の創造。
- イノベーションにつながる新たな価値の創造
- 復興をこえた地域再生を進めるイノベーションにつながる創造性の育成。
- スペシャリスト系列の授業などでの、新たな商品開発や地域課題への挑戦。
- 「ふたばの教育復興応援団」による各界の第一人者など「本物」との出会い。